

横芝光町の ここが聞きたい！

12月定例会
一般質問

～ 4名の議員が登壇し、町政を問う～

登壇者と通告内容

森川 貴恵 議員・・・P5

- ◆教育関係について
- ◆横芝光インターチェンジ周辺について
- ◆町長の政治姿勢について

印東 彦治 議員・・・P7

- ◆栗山川の整備について
- ◆横芝光町事業継続支援金について
- ◆東陽病院事業について

宮蘭 博香 議員・・・P6

- ◆令和5年度一般会計予算について
- ◆人事について
- ◆行財政運営について
- ◆教育関係について

川島富士子 議員・・・P8

- ◆住民自治の重要性と推進について
- ◆農業立町の身近な課題と方策について
- ◆町民に寄り添う充実した支援について



① 一般質問とは

町の行政全般について、執行機関に疑問点を問い見解を求めるものです。議会だよりに掲載される内容は紙面の都合上要点のみとなっています。掲載できなかった質問は、町ホームページからご覧いただけますので、ホームページ内の「議会会議録」よりご覧ください。

なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和4年9月議会定例会までご覧いただけます。





森 川 貴 恵 議員

中学校部活動の 地域移行についての考えは 方向性を模索している状況にある

Q コロナ禍における学校の諸課題について

A 児童生徒の心と体の健康状態への影響は

Q 学校生活でマスク着用が常態化しており、相手の表情を見る機会が減り、人とのコミュニケーションが不足し、相手の感情を推し量る力が弱くなっています。また、体力、運動能力、持久力が低下しているようです。

A 平成30年度から令和4年度にかけて23名前後で推移しています。新型コロナウイルスによる出席停止により登校できない児童生徒には、タブレット端末を利用し連絡や授業配信を行っています。

Q 不登校児童生徒数の推移と、その支援方法は。

Q 学校のコロナ対策緩和についての考えは

A 10月13日、千葉県教育委員会では「これまで制限していた行事等を従来の実施形態に戻す」よう県立学校に依頼し、中学校においても主旨を理解するよう通知がありました。しかし、当町では学校の実態に応じた行事の開催を模索していきたいと考えています。

Q 中学校における部活動の在り方について

A 地域移行についてどのようにとらえているか

Q 教職員の働き方改革の観点も含め、進める必要があると考えています。しかし、人材の確保、制度の整備、予算の確保など課題が山積しており、現状は地域移行に向け方向性を模索している状況にあります。

Q 周辺について

A 東京駅行高速バス、駐車場の利用状況は、11月30日までの期間、一日平均乗車11・6人、降車10・4人、駐車場利用は平日6台、土日祝日10台程度となっています。

Q 今後の課題と対策は

A バス会社との連絡体制を整え、停留所施設の案内表示、待合施設、夜間照明、防犯カメラを適切に維持管理し快適に利用していただけるよう努めていきます。

Q 企業誘致、商業施設等の進捗状況と今後の具体的計画は。

A 事業費の算出を行いながら事業エリアを検討し、今年度末までに、事業の実現方法につき分析した結果を基本計画にまとめていきます。

Q 町長の政治姿勢について町の発展をどう考えるか

A 全世代の方々がこの横芝光町に住んでよかったと思えるような街づくりを進めることが一番重要であると考えています。様々な施策を行い、人口減少に歯止めをかけ多くの町民に住み続けていただくことが町の発展につながると考えております。

Q 横芝光インターチェンジ周辺についての今後の取り組みは

A 企業誘致は自治体間の競争であるので、諸般の状況が許すのであれば、令和5年度には事業の具体化のために造成工事を行うパートナー事業者を見つける段階に入りたいと考えております。

Q 横芝光インターチェンジ周辺の今後の取り組みは

A 土地所有者と協議を進め、有効な土地利用が図られるよう検討していきたいと考えております。

Q 横芝光インターチェンジの今後の取り組みは

A 横芝光インターチェンジの今後の取り組みは

Q 横芝光インターチェンジの今後の取り組みは

A 横芝光インターチェンジの今後の取り組みは

横芝光インターチェンジ

経済効果を求める調査は絶対に必要

芝山鉄道延伸による

調査を行う予定はなし



宮 蘭 博 香 議員

Q 町長は私の令和4年3月定例会での芝山鉄道の延伸については、「今の段階では考えていない。」と明確に答弁されました。その理由として、非常に大きなプロジェクトであり莫大な費用と時間を費やすということでありました。成田国際空港と共生共栄を図りながら当町が発展していくためにはインフラ整備は必要不可欠であり、莫大な経費と時間が必要ならば、今まさに知恵を出し合い、空港南側市町と協議をする必要があると思います。鉄道が整備されることにより成田への一番のアクセスが整います。そうしますと、当然人口の流

失を防ぐことになり、就業の場も確保することができ、生産人口が定住することが想定されます。そのような状況を創り出すことにより、個人住民税や固定資産税等の増収、出生率の減少にも歯止めをかけることになり、民間活力も期待できるようになります。このような状況が期待できるのであれば、チャレンジすることが町長の仕事だと思えます。そして、このことは空港南側の自治体全部に共通することだと思えます。そうであるならば、当町が音頭を取るために、芝山鉄道を延伸し、総武本線と接続された場合の経済効果を求めるための調査が絶対必要だと思

いますが、町長のお考えをお伺いします。

A 芝山鉄道延伸による経済効果についての調査を行う予定はありません。

Q 教職員の働き方改革に伴い、中学校の部活動については、令和5年度から外部指導者を招聘し教職員の勤務時間の軽減を図っていく方向にあります。が、未だにその方法が明確になっていません。また、子どもたちに思いがある教職員については、部活動までを含め自分で指導していきたいという気持ちを持っている者も大勢います。そして令和5年度から実践していくのであるならば、4

力月を切っていますので、早急に具体的な考え方を示さなければならぬ時期にきていると思われませんが、どのようなお考えをお持ちなのかお伺いします。

A 実現に向けては、人材の確保、関係スポーツ団体との連携、制度の整備、予算の確保など課題が山積しており、現状では地域移行に向けた方向性を

模索している状況にあります。今後、関係者や関係スポーツ団体等との協議を進めていきたいと考えています。

※その他の質問

○令和5年度一般会計予算について

・当初予算はどのような編成方針により行っているのか

・どのくらいの予算規模になるのか

・どのような（事業・補助金等）見直しを行っているのか

・当町の標準財政規模をどのように捉えているのか

○人事について

・東陽病院の院長について

・令和5年度新規採用職員について

○行財政運営について

・更なる機能強化に伴う成田国際空港の進捗状況について





印 東 彦 治 議員

栗山川の整備は 農業者の個別支援金 横芝光町立東陽病院の処遇改善

Q 木戸橋下の水門
堰撤去の進捗状
況は

A 地元地域からの要望により、千葉県海匠農業事務所において木戸堰の撤去に向け、調整をしていると伺っております。町での撤去に向けた要望、協議をした内容につきましては、栗山川下流沿岸土地改良区は現在、土地改良区としての機能はしていない団体であることから、千葉県による撤去を要望しているところであり、また、要望に係る協議回数といたしましては、今年度に入り、千葉県海匠農業事務所と3回、千葉県山武土木事務所と1回、関係者等への聞き取り調査を2回実施しております。なお、千葉県におきましては、千葉県海匠農業事務所と千葉県山武土木事務所との協議、千葉県海匠農業事務所と地元関係者との協議を行っている旨、伺っております。木戸堰撤去に向けた要望、協議につきましては、引き続き継続をしております。



▲木戸堰

Q 横芝光町事業継続支援金についての、農業者個別支援金はどうなっているか。

A 町では、米価の下落を要因とした支援で

はありませんが、国の地方創生臨時交付金を活用し、個別の支援といたしまして、農・工・商業者向け物価高騰対策応援金事業を実施しているところであり、また、米価の安定を図るため、国においては、米の需要に応じた生産・販売を推進し、水田を活用して麦、大豆、飼料用米など、戦略作物を生産する農業者に、支援を行う水田活用直接支払交付金を推奨してきました。町といたしましては、引き続き国及び千葉県が行う政策、補助制度にあわせて、支援をしていきたいと考えております。

Q 東陽病院事業の、看護師及び看護助手の夜勤の改善について。

A 2階の一般病棟及び3階の療養病棟いずれの病棟につきましても、看護基準は満たしております。特に問題はないことから、現段階では夜勤時間帯の増員の必要性は無いと考えております。

Q 看護師及び看護助手の給与について

A 保健師、看護師、准看護師は医療職給料表に基づき支給しており、千葉県内の公立病院と比較しても適正であると考えております。看護助手につきましては、行政職給料表に基づき支給しておりますが、資格を有していないことから医療職と比較すると給料月額が低くなります。今後、看護業務の負担軽減や処遇改善に繋がる方策について取り組み、看護師及び看護助手の職場環境の向上を図るとともに、人材確保に努めてまいりたいと考えております。

園児の給食無償化を

事業化の実現に向けて取り組む



川島 富士子 議員

Q 不在者投票の電子申請を

A 不在者投票の電子申請は、選挙人本人が行う「名簿登録地以外の市町村における不在者投票」等に係る投票用紙等の請求が、マイナポータルでの「ぴつたりサービス」等を利用し、パソコンやスマートフォンからすることができ、それ以後の流れについては、従来どおりとなります。

Q 今後、選挙人の利便性向上の観点から導入に向け検討してまいります。

A 子宮頸がんHPVワクチンは

令和4年4月から国の通知により、HPVワクチンの定期接種を積

極的に勧奨することとなり、中学1年生から高校1年生までの女性とキャッチアップ接種対象の未接種者及び3回接種が未完了の接種者に対し、個別通知を行うとともに、広報よこしばひかり5月号へ掲載しました。

令和5年度から導入することとが了承されたところです。9価ワクチンは、2価・4価のワクチンよりも多くの、9種類の遺伝子型を標的としており、子宮頸がん及びその前がん病変の罹患率の減少、子宮頸がんの死亡率の減少が期待され、その対象者は、現在のHPVワクチンと同様の小学6年生から高校1年生までとキャッチアップ対象者の17歳から26歳までとしています。当町も、令和5年度から9価ワクチンの定期接種に向け、準備してまいります。

令和4年4月から国の通知により、HPVワクチンの定期接種化に関して検討され、4価ワクチンと同様の接種方法により、

令和4年4月から国の通知により、HPVワクチンの定期接種化に関して検討され、4価ワクチンと同様の接種方法により、

令和4年4月から国の通知により、HPVワクチンの定期接種化に関して検討され、4価ワクチンと同様の接種方法により、

Q 不妊治療保険外の助成を

A 令和4年4月から一般不妊治療等が保険

適用となったものの、治療を受けているご夫婦の経済的負担は大きいことから、当町では新たに、保険診療に係る費用の一部を助成し、負担軽減を図るとともに町内の少子化対策及び移住定住対策の推進に寄与することを目的に、「妊活サポート事業、不妊治療費保険診療助成」を創設し、不妊に悩むご夫婦を支援してまいります。



Q 園児の給食無償化を

A 子育て支援施策の一層の充実と保育所及び幼稚園等をご利用いただく保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的として、現在、様々な観点から園児の給食費無償化に関する制度の検討を行っており、事業化の実現に向けて取り組んでまいります。

※その他の質問

- ・主権者教育の取り組みについて
- ・農地の保全と活用について
- ・鳥獣被害防止対策の取り組みについて
- ・国の「出産・子育て応援交付金」事業について